

南魚理センだより



令和6年8月27日発行

No. 5

南魚沼市学習指導センター

理科教育部

〒946-6680 南魚沼市六日町865
(学習指導センター内)

TEL 025(773)6702

FAX 025(773)6703

E-mail risen@minamiyonuma.ed.jp

今年度も、郡市小・中学校教育研究会理科部との共催により、南魚沼地域児童生徒標本展・科学研究発表会を、以下のように実施します。各校理科主任・推進委員の皆様どうぞよろしくお願ひします。

南魚沼地域児童生徒標本展

日 時 9月 7日（土）9：30～16：00
8日（日）9：30～15：00まで



会 場 南魚沼市図書館 多目的室

部 門 植物標本の部、動物標本の部、その他の標本の部（貝殻、貝化石、岩石、骨格等）
各部門はさらに小学校低学年、同中学年、同高学年、中学校に分ける。

表 彰 参加者全員に賞状を贈呈する。ただし、4名以上の共同作品にはグループに1枚。

申込み 申込ファイル（電子データ）をメール添付で理センへ。

【申込み締め切り】9月2日（月）15：00必着。

*申込みファイルは、8月6日（火）に各学校の代表メールに送付済。

作品搬入 9月 6日（金）14時00分～15時00分 <会場準備と審査を並行して行う>

作品搬出 9月 9日（月） 9時30分～10時00分

南魚沼地域児童生徒科学研究発表会

日 時 9月 30日（月）14時10分～16時30分（終了時刻は目安）

会 場 旧五十沢中学校（現五十沢地域開発センター）
〒949-6775 南魚沼市宮472番地3 <五十沢小学校となり>



部 門 小学校中学年の部、小学校高学年の部、中学校の部

審 査 発表数の3割程度を「いきいきわくわく科学賞2024」に推薦する。

表 彰 発表者全員に賞状とバッジを贈呈する。ただし、4名以上の共同作品にはグループに1枚。

申込み 申込ファイル（電子データ）をメール添付で理センへ。

【申込締め切り】9月 9日（月）15：00必着。

*申込みファイルは、8月6日（火）に各学校の代表メールに送付済。

発表原稿 【原稿締め切り】9月18日（水）16時30分まで（期限厳守）

湯沢小学校・中学校：メール添付で理センへ（or データCDで提出）。

南魚沼市内小中学校：共有フォルダ>02常用>02全学校共有>08理科センター>
科研要項（R6）に保存し、理センへメール等で連絡。



発表会準備 9月 27日（金）15時00分～

役員報告会 9月 30日（月）16時30分～（予定）

いきいきわくわく科学賞2024

応募締め切り 10月 9日（水）必着
最終審査 11月 5日（火）

標本展・科学研究発表会ともに、詳細は4月23日（火）の第1回理科主任会の要項をご覧ください。

7月・8月の研修会報告

7月29日(月)～8月6日(火)

学年別基本研修

「小学校3～6年間授業の進め方」

講 師:理科センター 協力員

小宮山文子先生（塩沢小学校）

多くの方々からご参加いただきました。参加者から次のような感想をいただきました。

- ・毎回新しい情報をいただいたり、自信が無い内容をすっきりさせてもらったりと学ぶ内容が多いのであります。

- ・実験に不安がありましたが、実践しながらの研修で準備する物や気を付ける事を教えていただき参考になりました。毎回工作の時間が楽しいです。また受講したいです。



（写真）

8月1日(木) 郡市教振理科部会共催

「プログラミング教育講演会」

講 師:ユーレカ工房代表

齋 藤 博 様

郡市教振理科部研修会と兼ねて実施し、26名の参加をいただきました。「小5ふりこ」の測定に活用できる機器・色を認識して動く車やソフト等をご紹介いただきました。

「プログラミングと理科単元を合わせた授業づくりについて学ぶことができました。測定計測やプログラミングで車を操作するなど、活用の幅が広いことがわかり、普段の授業づくりに生かしていきたいです。」という感想をいただきました。



8月7日(水)～8日(木)「尾瀬宿泊研修会」

講 師：小千谷市教育センター所長 大野滋様



一時雨もありましたが、ほぼ好天で野外研修日和となりました。参加者は講師を含め13名。久しぶりに宿泊を伴う、余裕のある日程で尾瀬沼を満喫できました。1日目は大清水経由で尾瀬沼まで入り、尾瀬沼散策、星空観察を実施しました。2日目は尾瀬沼1周、ビジターセンター講義、大江湿原・沼山峠から魚沼市へ帰るルートでした。講師の大野先生からは尾瀬の動植物や地質等あらゆる方面から“尾瀬解説”をしていただきました。さすが、年間10回以上、尾瀬に入るベテランの講師様。終始分かり易い解説でした。以下に参加者の感想の一部を掲載します。

- ・これまで尾瀬についてはあまり知らなかつたのですが、1泊2日の研修を通して、尾瀬の動植物や歴史、環境保全などについて学ぶことができました。
- ・宿泊ならではの体感を伴った自然観察ができました。夜は、星空観察、朝は朝もやの中で日がさしていく様子を味わうことができました。同じ市内の教員といつても日頃は会話の機会もあまりないのですが、こういう機会に交流を深めることができました。



サワギキョウ



尾瀬沼ヒュッテにて



尾瀬沼と燧山